

著者紹介

衛藤 義人 Eto Yoshito

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター整形外科・リウマチ科部長、医学博士。

1972年東邦大学医学部卒業、同年国立名古屋病院研修医、1973年国立名古屋病院整形外科医員（名古屋大学整形外科へ入局）、1987年名古屋第二赤十字病院第2整形外科部長・理学診療科部長、1994年一宮市立市民病院整形外科部長・リハビリテーション科部長、2003年国立名古屋病院第一整形外科医長・リウマチ科医長、2004年国立名古屋病院整形外科・リウマチ科部長。

研究歴：1976年厚生省から英国（エジンバラ大学）プリンセス・マーガレットローズ整形外科病院へ3カ月派遣。

1985年日本リウマチ協会欧州派遣フェローとして、スウェーデン・ルンド大学等3カ月研修
専門分野：関節リウマチ、人口関節手術
所属学会：日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本リウマチ・関節外科学会

岩瀬 正嗣 Iwase Masatsugu

藤田保健衛生大学・短期大学・医療情報技術科教授、医学博士。

1977年3月北海道大学医学部卒業、同4月国立名古屋病院内科研修医およびレジデント、1981年8月愛知県総合保健センター、1982年5月国立療養所鈴鹿病院、1983年10月名古屋大学医学部第一内科医員、1988年10月国立療養所中部病院、1991年8月名古屋市立東市民病院、1992年9月藤田保健衛生大学循環器内科講師、1996年7月米国 Mayo Clinic 留学、1997年8月藤田保健衛生大学循環器内科講師に復帰、2000年4月藤田保健衛生大学短期大学・医療情報技術科・教授、現在に至る。
専門分野：超音波ドプラ法による血行動態評価

著書：Masatsugu Iwase and Iwao Sotobata Clinical Echocardiography
Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, Netherlands 1989. P1-304

岩瀬正嗣 ビジュアル心エコー 中山書店、平成15年2月

所属学会：日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心エコー図学会

寺田 明彦 Terada Akihiko

大同病院小児アレルギー科部長、医学博士。

1988年3月名古屋市立大学医学部卒業、同5月名古屋市立大学病院小児科研修医、1989年5月静岡済生会総合病院小児科医師、1992年6月市立四日市病院小児科医師、1995年6月

国立療養所三重病院小児科・アレルギー科レジデント、2000年7月名古屋市立大学病院小児科臨床研究医、2001年10月米国ミネソタ州 Mayo Clinic、内科・アレルギー・免疫学講座研究員（主任教授：紀太博仁）留学、2004年3月大同病院小児アレルギー科部長（現職）

研究歴：1994年から国立療養所三重病院小児科にて小児喘息の炎症性マーカー ECP について臨床研究を開始、その後、三重病院アレルギー科にて好酸球の基礎研究に従事。1995年呼気中一酸化窒素の研究にて学位論文を執筆。2001年米国 Mayo Clinic へ留学し好酸球の基礎研究をさらに発展させた。2003年帰国。2004年より現職。

所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会

平井 長年 Hirai Nagatoshi

尾張健友会千秋病院脳神経外科部長、医学博士。

1977年3月名古屋大学医学部卒業、同4月名古屋掖済会病院研修医、1978年

4月名古屋大学医学部脳神経外科講座医員、同7月国立東静岡病院脳神経外科（現国立病院機構東静岡医療センター）医員、1981年4月名古屋大学医学部脳神経外科講座医員、1983年同助手、同12月一宮市立市民病院脳神経外科医員、1985年4月一宮市立市民病院脳神経外科医長、1990年8月愛知県厚生連昭和病院脳神経外科部長、2004年7月尾張健友会千秋病院脳神経外科部長 現在に至る。

専門分野：脳神経外科

所属学会：脳神経外科学会、日本リハビリテーション医学会

鈴木 幹三 Suzuki Kanzou

名古屋市緑保健所所長、医学博士。

1975年名古屋市立大学医学部卒業、1976年国立療養所恵那病院、1979年虎の門病院呼吸器科、1981年名古屋市厚生院附属病院、1988～1989年フランス政府給費留学生（パリ南大学、テノン病院）、2003年名古屋市港保健所、2007年名古屋市緑保健所。

最近の仕事：

- 1) 平成16年度厚生労働科学研究「高齢者介護施設における感染管理のあり方に関する研究」研究協力者（2005年）
- 2) 厚生労働科学研究「インフルエンザワクチンの分析疫学研究班」分担研究者（2005～）

著書：鈴木幹三監編、訪問介護事業者のための感染症ハンドブック。中央法規出版、東京、2004

所属学会：日本呼吸器学会、日本感染症学会、日本環境感染学会